



今年5月に行われた宇都宮交流大会

当

所の常議員を務めている、東野タクシー(株)代表取締役の高柳實氏は、以前からCSR活動に関心を寄せ、関わっておられます。

現在力を入れているのが、少年ラグビーの育成です。栃木県内には少年向けのラグビースクールが5団体ありますが、高柳氏が支援しているのは宇都宮市に拠点を置く「宇都宮市少年ラグビースクール」(宇都宮市今泉町、代表・阿部貞夫氏)の活動です。

「ラグビーはこれまでオリンピック種目に入っていないから、2016(平成28)年夏季大会から、7人制ラグビーが新たに加わることになりました。」

また、サッカー同様ラグビーにもW杯があるのですが、2019(平成31)年大会を日本で開催することが、昨年正式に決定しました。これらは大変喜ばしいことなのですが、日本のラグビー人口はまだ少なく、人材の裾野拡大とレベルアップが急務なのです。そこで、オリンピックや

W杯の開催年にラグビー界を支えることになる今の少年たちを支援すること、地域への貢献を行うと考えました」
宇都宮市少年ラグビースクールは1990(平成2)年設立で、現在85人。ほとんどが市内の子供たちですが、中には遠方から通ってくる子もいるそうです。
練習は週1回、日曜日に県立宇都宮高校のグラウンドを借

「ラグビーW杯でトップをめざすことのできる人材を育成」

CSR活動に取り組む宇都宮市内の企業をご紹介します、本コーナー。今回は少年ラグビー活動や多気山御殿平の眺望改善などに関わって活動している、東野タクシー(株)の高柳實社長に話をうかがいました。

CSRで輝く会社

第11回 東野タクシー株式会社



代表取締役 高柳 實 氏

りて練習しています。また今年からは鹿沼市内の空き地を無償で借り、宇都宮高校が使えない時などはそちらで練習しています。「鹿沼はまだ芝を植えていないので、本格的練習ができません。ランニングなどに使用しています。出来るだけ早く整備して、メインで使用できるようにしたいと思っています」
交流試合も頻繁に行うほか、毎年夏合宿を県内で開催しています。また県外の交流大会などにも積極的に出場しているとのこと、少年たちの力は着実に上がっているそうです。
「栃木県にはもともとラグビー名門校がいくつもあったのですが、最近は寂しい状況。五輪やW杯をきっかけに、また盛り上げたいですね。指導者の育成や練習場の確保整備などまだまだ課題もあります。6、9年後に向けて支援して行きたいと、汗を流して

ます」

高柳氏は、他にも多気山持宝院御殿平の眺望を良くするため活動にも関わっています。

「多気山の上からは、天気によければ富士山をのぞむことができるのです。ただ、現状では樹木が生い茂ってしまっているので、見られませんが、それで多気山とも相談し、眺望を改善する活動を行っています。現在は地権者の方々に働きかけているところです。」

あそここの見晴らしが良くなって富士山やこ来光をのぞめるようになるれば、矢板市の八方ヶ原にも負けない、宇都宮の名所になりますよ」
私は裏方ですからと言いながら、さまざまな活動にかかわり、支援されている高柳氏でした。

東野タクシー株式会社

代表取締役 高柳 實

◎設立 昭和45年10月
◎業種 運送業(タクシー)
(本社) 〒320-0043
宇都宮市桜4-14-19
☎ 643-0504